

第 47 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2013 年 8 月 8 日（木） 15：00～16：30
2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 2 階会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）

	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
2	副議長	檜山 爲次郎	日本化学会	出
3	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
5		札野 順	日本工学教育協会	出
7	委員	夏 恒	日本機械学会	出
8		皆川 勝	土木学会	出
9		林 克己	日本技術士会	出
10		橋本 義平	日本技術士会	出
11		高橋 信之	日本建築学会	出
12		松藤 泰典	日本建築学会	出
15		宮越 直樹	日本原子力学会	出
16		玖野 峰也	日本工学アカデミー	出
19		酒井 祐之	電気学会	出
23		岡田 博	日本マシネンゾニアリング学会	出
25		アドバイザー	長島 昭	元議長
26	池田 駿介		元議長	出
28	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出
30	事務局	木暮 賢司	日本工学会 事務局	出

4. 配布資料：

- 技倫資料 47-1：第 46 回技術倫理協議会議事録
- 技倫資料 47-2：会員学協会活動報告
- 技倫資料 47-3：日本工学会技術倫理協議会名簿（平成 25 年 8 月 7 日現在）
- 技倫資料 47-4：日本工学会技術倫理協議会規程（平成 25 年 6 月 18 日改正）
- 技倫資料 47-5：WECC2015 主要テーマⅢ検討状況報告
- 技倫資料 47-6：平成 25 年度シンポジウム企画（案）

5. 議 事

①前回議事録案の確認

- ・ 第 46 回議事録案（資料 47-1）を原案通り確認した。

②平成 25 年度技術者倫理シンポジウムについて

- ・ 資料 47-6 について、三木議長より説明があり、その後討論を実施した。
- ・ 概ね資料 47-6 の内容で実施することとするが、企業や雇用主等の組織について追加する。。
- ・ テーマ名は、「技術者・研究者の社会的信頼の向上に向けて」とする。
- ・ サブテーマについては、設けるかどうかも含めてシンポジウムの詳細が確定後決定する。。

③WECC2015 について

- ・ 資料 47-6 により三木議長より、WECC（World Engineering Conference and Convention）2015 の主要テーマⅢ「社会のための工学」プログラム部会での議論が紹介され、当協議会が担当するサブテーマ「工学の社会的使命と技術者倫理」の講演テーマおよび講演者候補を 9 月 19 日までに提出予定であることが報告された。

- WECC2015 の招致経緯および主催組織である世界工学団体連盟 (WFEO: World Federation of Engineering Organizations) について、池田オブザーバーより概要説明があり、その後討論を実施した。

④日本工学会技術倫理協議会規程について

- 長島オブザーバーより、規定改正案について、『第1条に、“社会の変化に応じてダイナミックに技術倫理協議会も対応する”等の前向きなワードを入れるべきである』との意見提起があった。
- 今後時間をかけて協議会内で議論することとなった。

⑤会員学協会活動報告について

	学協会名	報告概要
1	電気学会	<p>① 8月21日に技術者倫理研修会を開催予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運輸安全のための「事故調査」についての講演と討議 ・技術者倫理事例集に編修予定の新事例2~3編の紹介と討議 ・電気学会倫理委員会の教育支援活動報告など <p>②学会倫理綱領，行動規範の英文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年英文化WGを立ち上げ，7月理事会で承認（予定） <p>③東京医科歯科大学生命倫理研究センターの吉田雅幸氏による講演</p> <p>「我が国における研究倫理の現状と課題」</p>
2	電子情報通信学会	<p>平成25年度総合大会（平成26年3月、新潟大）にて下記のシンポジウム企画を大会委員会に提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム名：「福島原発事故を教訓に技術者倫理を考える」 ・趣旨：福島原発事故は未曾有の被害をもたらし、当事者のみならず科学技術に携わる者全てに深刻な課題を提起したと言えよう。電子情報通信分野の技術者にとっても、この事故から出来るだけ多くの教訓を学ぶ必要があるが、そのひとつに技術者倫理問題がある。福島原発事故の真相を知ると共に、倫理的課題を考察し、今後の技術者倫理のあり方について多面的に討論する。 ・日時：2014年3月20日（木）9:00~12:00 ・プログラム案：基調講演「福島原発事故の真相と課題（仮題）」北澤宏一氏（東京都市大学長），講演「福島原発事故に見る技術者倫理問題（仮題）」札野順氏（金沢工大），パネル討論：北澤宏一氏、札野順氏、笠原正雄氏、三木哲也氏 司会：酒井善則氏
3	土木学会	<p>倫理規定検討特別委員会（元土木学会会長 阪田憲次委員長）を設置して改訂検討を開始した。東日本大震災と安全、倫理観を高める倫理規定が、キーワード。</p>
4	日本機械学会	<ul style="list-style-type: none"> ・9月9日に、日本機械学会2013年度年次大会にて、ワークショップ「これからの機械系技術倫理教育は如何にあるべきか」を開催する。主な内容：企業の技術者倫理教育について、技術者の倫理とは何かを再考する、東日本大震災、原発事故の教訓をいか

		<p>に生かすか、技術者倫理教育モデルシラバスの開発、アンケートから見える技術者倫理教育の課題、パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術倫理教育内容の体系化、教育方法の改善や評価方法の確立に向けた検討を行い、モデルシラバスや機械系学生向け教材の開発などに繋げるため、「機械系高等教育機関での技術倫理教育の体系化WG」を、2013年4月1日から一年間設置する。主な活動内容：モデルシラバス、講義内容、講義で教えるべきポイント、事例（扱い方法）、課題の設定例、評価方法、指導要領（手引書）の検討
5	日本技術士会	<p>札幌で開催される第40回技術士全国大会に合わせ10/3に第1回技術者倫理ワークショップを開催する。本ワークショップは日本技術士会での倫理関係の活動報告（倫理委員会、開催地の本部、特徴ある本部）と講演の二部構成。今回の講演は「次世代技術者の倫理教育」をテーマに、『専門職倫理としての技術者倫理』（新田孝彦氏（北大理事・副学長））と『技術士による技術者倫理教育の現場から』（峯岸律子氏（技術士））の2件を予定。</p>
6	日本原子力学会	<ul style="list-style-type: none"> ・福島原発事故調査委員会#12(6/19), #13(7/11)開催。3/27の中間報告を踏まえ、今秋には最終報告をとして纏め上げるべく推進中。 ・事故調査の一環として、「原子力学会の今後のあり方」について、学会員に広く意見を公募中。これは3月に役職経験者のOBに対して行ったアンケート調査に引き続いて行われるもの。福島原発事故を受けて学会としての反省点を引き出すためのもの。 ・倫理委員会#71(6/12), #72(7/10)開催。福島原発事故を受けて倫理規定の前面見直しを図る。（安全の定義、安全目標、安全と安心、専門能力、社会科学・人文科学的素養、説明責任、組織と個人の関係、リスク等に議論） ・秋の大会における倫理委員会企画セッションの準備。
7	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> ・6/14 第61回定時総会にて倫理綱領第3版（日英）決定 ・8/31 新潟大会での倫理OSのWSは下記の通り テーマ「わが国における技術者倫理教育の成果と今後の展望」 概要：学協会、団体等でおこなわれている調査研究成果の報告をおこない、わが国における技術者倫理教育の発展に向けた課題、方向性、ミッションなどについて協議を行う。パネリスト：小林 幸人（熊本高等専門学校）、大来 雄二（電気学会/金沢工業大学科学技術応用倫理研究所）、田岡 直規（日本技術士会中部本部ETの会）、田中 秀和（日本技術士会/大同大学情報学部）、比屋根 均（ラーテン技術士事務所） ・第14回WS「技術者倫理」と国際セッション（各国の現状、事例発表）は東京にて11/29, 30, 12/1の期間を第1候補で調整中

8	日本マリンエンジニアリング学会	平成6年度から開講している CPD 講習会において、今年度も「技術者倫理」の講義(8月22日、東京海洋大学)をおこなう。マリンの分野における事例集を集めている。
---	-----------------	--

⑥次回開催について

- ・ 次回は、2013年9月24日(火) 3:00~5:00(於日本工学会会議室)とする。

(以上)